



函南町制20周年記念

町民が選んだ

文化財50選

趣旨

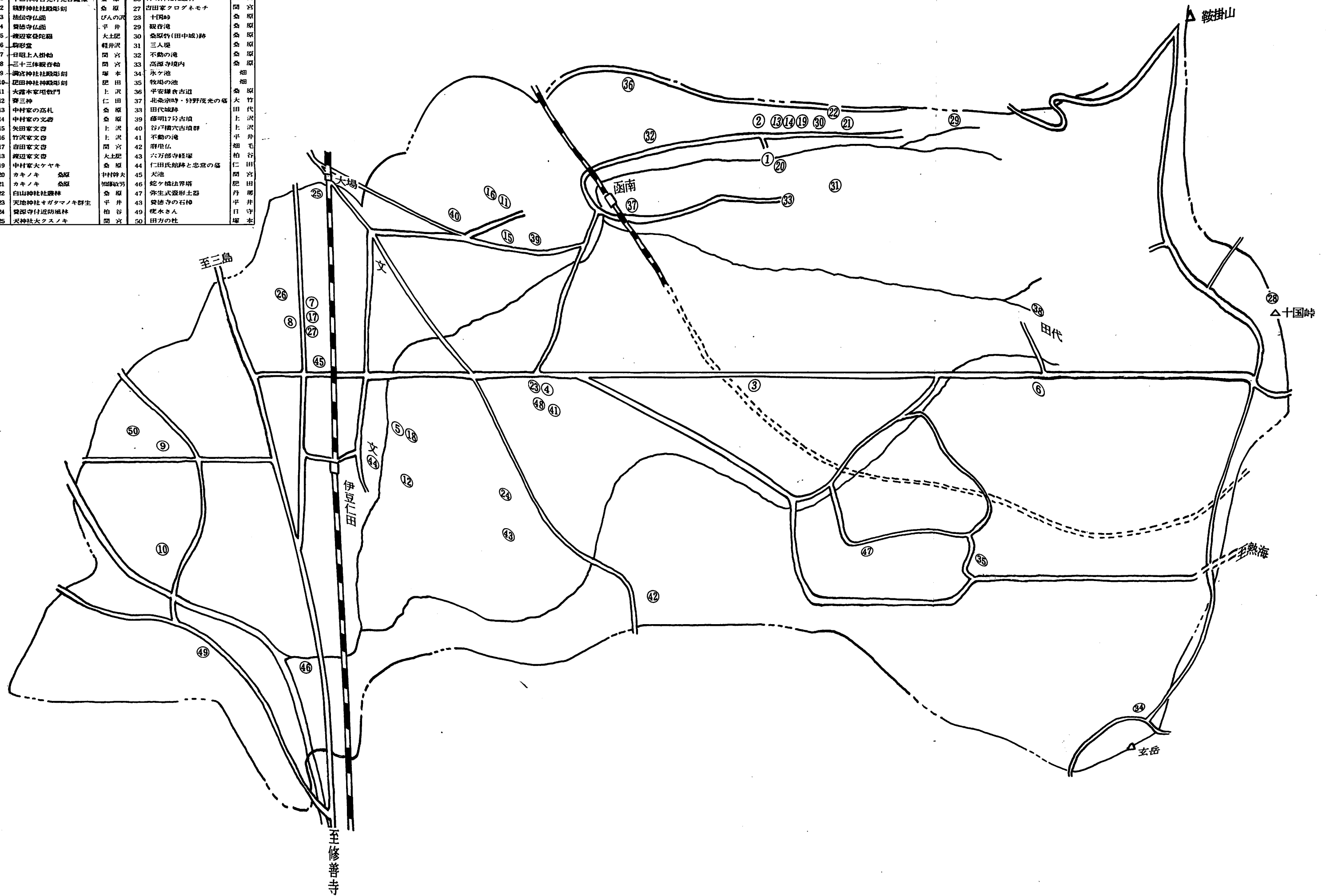
函南町は町制施行20周年を記念し、先祖が営々として築き上げ、我々に引き継がれてきた貴重な文化的遺産を町民の方々に掘り起こしていただきました。今後は、これらの文化的遺産に関する意識の昂揚と愛護の精神を涵養し、次代の人々に継承していきたいと思えます。

1. 十二神将日光・月光菩薩像（桑原・長源寺薬師堂）

県指定薬師如来の脇侍である日光・月光菩薩は金色に輝き、十二神将は江戸末期彩色を施されたが既に色褪せ破損が目立つ。制作年代不詳だが運慶作とも伝え、廃小菅根山新光寺より伝えられたものという。



番号	名称	所在地	番号	名称	所在地
1	十二神将日光月光菩薩像	桑原	26	神明神社社殿林	間宮
2	龍野神社社殿彫刻	桑原	27	吉田家クログネモチ	間宮
3	法伝寺仏面	びんの沢	28	十国峠	桑原
4	寶徳寺仏面	平井	29	観音滝	桑原
5	渡辺家登龍廟	大土肥	30	桑原特(田中城)跡	桑原
6	駒形堂	軽井沢	31	三人堤	桑原
7	日照上人掛軸	間宮	32	不動の滝	桑原
8	三十三体観音軸	間宮	33	高源寺境内	桑原
9	満宮神社社殿彫刻	塚本	34	永ヶ池	畑
10	肥田神社社殿彫刻	肥田	35	牧場の池	畑
11	大露本家祖教門	上沢	36	平安鎌倉古道	桑原
12	賽三神	仁田	37	北条宗時・狩野茂光の墓	大田
13	中村家の高札	桑原	38	田代城跡	田代
14	中村家の文書	桑原	39	藤明17号古墳	上沢
15	矢田家文書	上沢	40	谷戸横穴古墳群	上沢
16	竹沢家文書	上沢	41	不動の滝	平井
17	吉田家文書	間宮	42	群衆伝	畑
18	渡辺家文書	大土肥	43	六万部寺経塚	柏谷
19	中村家大ケヤキ	桑原	44	仁田氏館跡と忠常の墓	仁田
20	カキノキ	桑原	45	天池	間宮
21	カキノキ	桑原	46	蛇ヶ橋法界塔	肥田
22	白山神社社殿林	桑原	47	弥生式蓋形土器	丹那
23	天地神社オガタマノキ群生	平井	48	寶徳寺の石櫓	平井
24	寶徳寺付近防風林	柏谷	49	榎水さん	日守
25	天神社大クスノキ	間宮	50	田方の杜	塚本



〈建造物・絵画・彫刻の部〉

2. 熊野神社神殿彫刻（桑原）

明治17年神原山神社クスノキの森の巨樹が台風で倒伏。そのご神木によって八木沢大工棟梁佐藤仙蔵が全精力を傾注して造営したものであり、その精緻を極めた彫刻が今日そのまま残されている。



3. 法伝寺仏画（びんの沢）

杉材の一枚板に描かれた地獄極楽図は町内に残る仏画としては最も古く最も価値あるものである。制作年代不明だが、当寺は神亀4年建立された地藏堂といい、源頼朝伝説も伝えられている。

4. 養徳寺仏画（平井）

本堂正面の16羅漢の板絵やは制作年月不詳だが構成技法の上から芸術的に極めて価値の高いものである。また19世虎丘和尚の達磨大師、観音像等の仏画の数々も共に貴重な作品である。



5.

渡辺家 曼陀羅 (大土肥)

弘安年間(鎌倉時代)により現代に至るまでの11点の曼陀羅が保存されており、中でも享保年間の曼陀羅は制作者の署名、花押が認められ優れたものである。

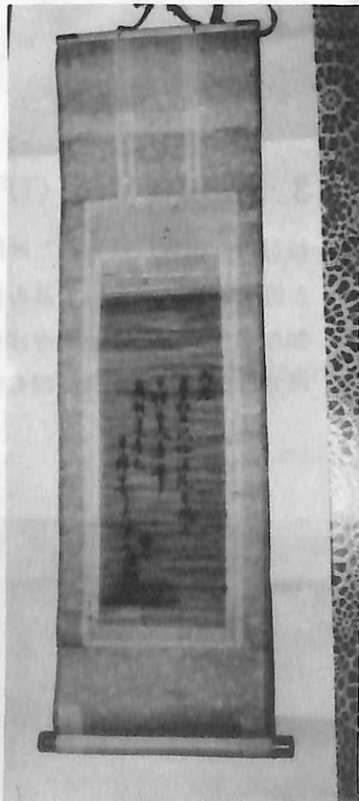


6. 駒形堂(軽井沢)

もとは弦巻山山頂に馬頭観音を祀るお堂があった。永平の頃平将門が愛馬の病氣平癒を祈願し全快したといい、源頼朝が堂に参詣の時愛馬池月を得たといい伝え頼朝馬上の姿を石に彫み本尊としている

7. 日昭上人掛軸 (間宮)

三島市玉沢法華寺開山の日昭上人真筆の数少ない掛軸である。裏面には六老玉沢法華寺開山日昭上人真筆と享保17壬子8月中山日近の筆跡があり稀にみる貴重なものである。



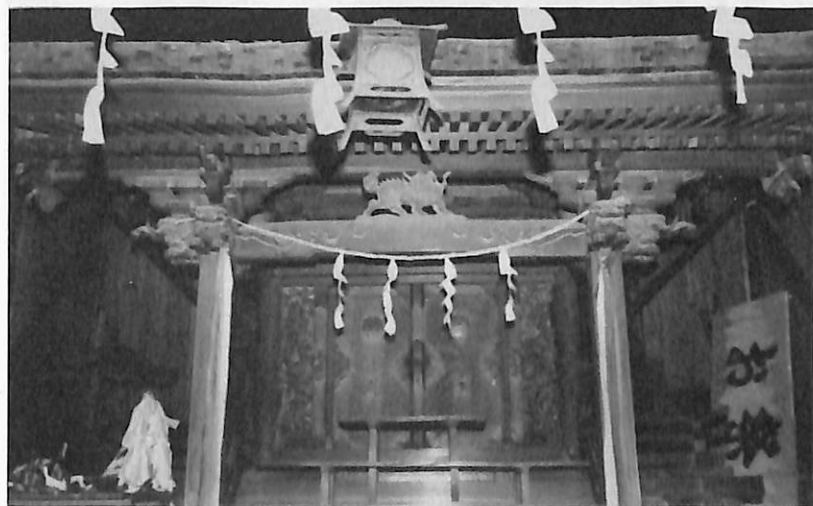
8. 三十三体観音軸(間宮)

伊豆駿河両国における横道三十三ヶ所観音霊場の「横道三番」として民衆の巡拝の対象となってきた。本尊は聖観音像の図である。



9. 満宮神社神殿彫刻（塚本）

近代の精緻を極めた神殿彫刻が今日までそのままにして保存されており熊野神社、（桑原）、肥田神社と共に町内に現存する数少ない逸品である。



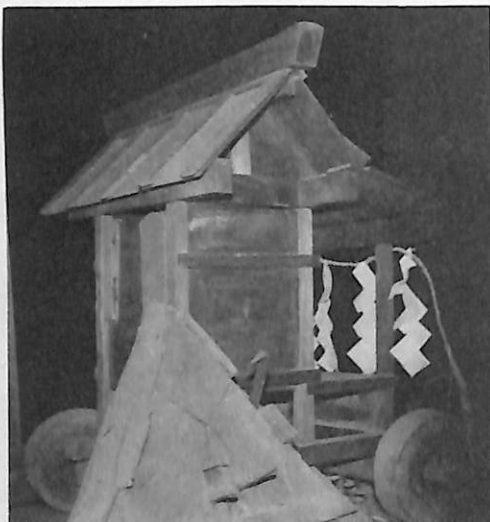
10. 肥田神社神殿彫刻（肥田）

明治42年皇后神社、若宮神社が合祀されてから制作されたものといわれ総ケヤキ造りである。祭神は誉田別命で熊野神社、肥田神社と共に現存する神殿彫刻の優れたものである。

11. 大露木家屋敷門（上沢）

当家表門は明治中期の制作であるが大資産家の大邸宅にふさわしいケヤキ造りで、門扉も一間半に及ぶ1枚板で豪華なものである。当町における屋敷門としては唯一の貴重なものである。





12. 賽の神（仁田、初姫神社）

近代において、子どもたちが若正月に集団生活行動をした象徴として終戦に至る間親しまれてきたものである。近來再び当地で催されるようになった。子どもたちのみの一大行事であり、保存したい。

〈古文書の部〉

13. 中村家の高札（桑原）

江戸時代、法令を民衆に周知させる手段として、各地要所に建てた高札中、切支丹の禁令、徒党禁止令等が保存されており、町内に残るものとしては極めて珍らしく、貴重なものである。



14. 中村家古文書（桑原）

当家は代々名主を継ぎ、数多くの文書中、江戸時代の道路運搬、交通に関連したもの、特に問屋場にかかわる文書が一括保管され、当町には類ない貴重な文書である。



15. 矢田家古文書（上沢）

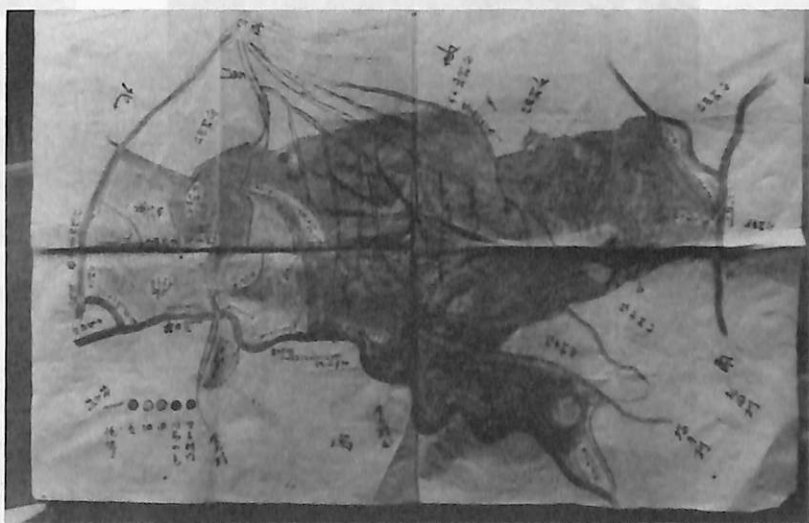
寛保時代からの宗門御改帳、人別帳、検見帳をはじめ年貢割付帳、勘定目録等々名主が如何に苦勞して治政に当たったか、上司への通帳お達、上申書等歴代の綿密な記録より続みとれる貴重な文書である。



ハツ溝における間宮、塚本両村の用水争で時の南町奉行大岡越前守が直接裁き杭打の方法、時刻を明示し紛争に終止符を打った大岡裁きを刻明に記録した貴重な文書が保管されている。



当家は長期にわたる地主として年貢や土地に関する記録、通達申請等、八ツ溝用水関係等間宮村の総てにかかわる数多くの文書が保存されている。



当家を含めた近隣周辺地域に及ぶ江戸時代の高札の写本や助郷通達の記録、ハツ溝水論文書等が保管されている。

[illegible]

〈樹木の部〉

19. 中村家大ケヤキ（桑原）

本町に現存するケヤキの数が極めて少ない中で、ほうき状になった巨樹は珍しい。目通り4.85m 樹高30mの大樹で、樹勢は旺盛である。



20. カキノキ（桑原・中村家）

目通り210cm根回り270cm樹高23.4mの大樹で、現在町内におけるカキノキとして現存するものが極めて少なくなった。西条であろう。樹勢は盛。

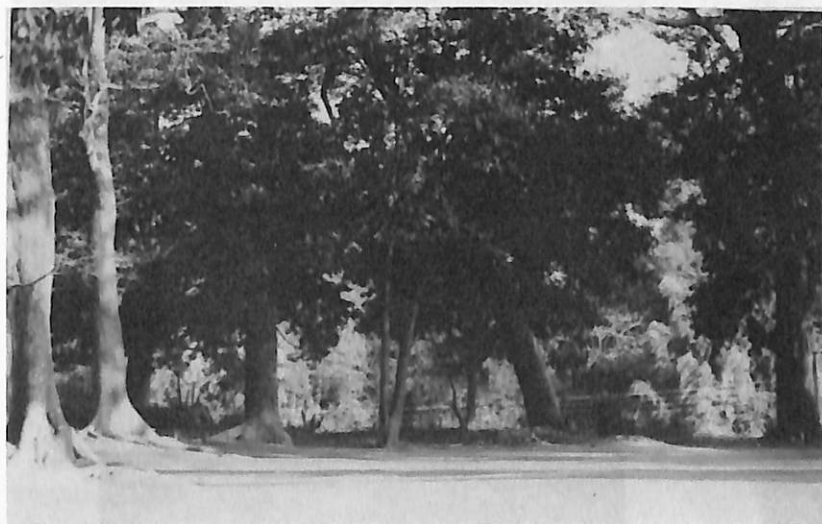


21. カキノキ（桑原・加藤家）

目通り215cm根回り260cmの大樹。俗にいうタバタであろう。㊹ 共々保護の手を加へ消滅しないように残していきたい。

22. 白山神社社叢林（桑原）

カゴノキ目通り3.9m 樹高22.83m（樹皮は淡紫色であるが、後に円状の薄片となって落下、鹿の子模様となる）大樹を中心に、モクレイシ（分布の北限である）等で形成されている。



23. 天地神社オガタマノキ群生（平井）

県指定のクスノキを中心に、神の招魂の樹オガタマノキが境内に等間隔に7本植栽され、クスノキ、カシ、クルミ等の巨木と神社林を形成していることは他に類がない。



24. 養源寺付近防風林（柏谷）

カゴノキ株立2.10m 根元7m 樹高16.7m クロガネモチ目通り2.7mの巨樹を中心にイヌガヤ、モクレイシ等による防風林を形成しており、樹種も豊で他に類がない。



25. 天神社大クス（間宮）

目通り6.6m 樹高18.71m 枝張り20mの巨木で、天地神社の象徴のご神木である。古くは天神森といい、神社林を形成していたが今日その姿は消滅した。

26. 神明神社社叢林（間宮）

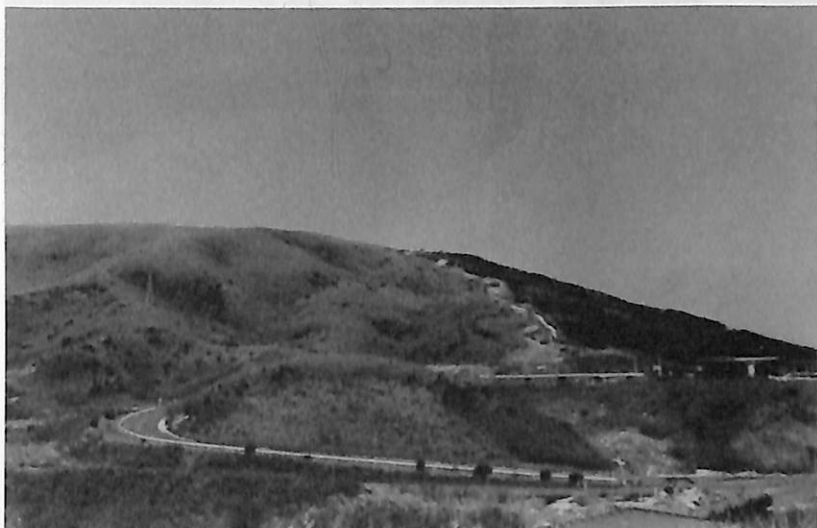
大ケヤキ目通り5m 高さ27.66mの巨樹の他にカゴノキ、クスノキ、イチイガシ、タブノキ、イヌガシ、ムクノキ等樹種も豊かで、その何れも樹勢盛んで社叢林を形成している。



27. 吉田家クログネモチ（間宮）

目通り2.95m 樹高9.19m 当町において他に類のない巨樹であり、樹勢も盛んである。

史跡・名勝・天然記念物 ・考古資料の部



28. 十国峠（桑原）

桑原地籍に属し、国見山頂上で十国五島を眼下におさめることからこの名があり、天下に名だたる広大な展望は有名。源実頼の歌碑熱海側に日金山東光寺があつて、春秋の彼岸は訪れる人々で埋め尽される。



29. 観音滝（桑原）

禁伐林中にあり、高さ10mに及び町内随一の瀑布である。左手に観音堂あり、原始林の森閑とした場所にあり、林中の水を集め、水量は豊富で名瀑に価する。

30. 桑原砦（田中城）跡（桑原）

田中内膳（伊勢長氏の外祖父）が築城した山中城の支城である。来光川の上流丸山にあつて、田中城ともいい、自然の利を活用した典型的砦であり、土塁、空隍の遺構が現存している。





31. 三入堤（桑原）

森家23代森三入が畑10畝山林10畝を良田とすることを計画、田代より三本松にかけ、山腹に600間の水路を構築しはじめたが、個人事業のため、資金に行き詰り坐折導水に至らなかった。貯水池排水堰が現存している。



33. 高源寺境内（桑原）

縁起に道昭、行基、空海等諸法師の修法の地、源頼朝、丹後局ゆかり等、史実伝説に富む寺である。山門鐘楼に至る、石畳左右の巨樹は古色蒼然、石仏、枯山水の池もまた当寺にふさわしい。



32. 不動の滝（桑原）
舟山高源寺へ通じる道すじに高さ8m一条の瀑布、水量は多くないが年中絶えることがない。滝前に小祠があり、伝説によると文覚作という不動尊が祀られ、今でも一・五・九月に例祭が講中の人たちの手で行われている。



34. 氷ヶ池（畑）

周囲2km玄岳の中腹にある。古くは天然氷を切り出し、熱海・三島方面へ運んだ。富士の眺望に優れ、周囲の草原は伊豆スカイラインの開通により、行楽客を誘う憩いの場となっている。

35. 牧場の池（畑）

周囲500m 玄岳の南西麓にある。玄岳周辺に降った雨雪が地下水となって湧出するので、年中絶えることがない。地域の飲用灌漑用水源となっている。人々のいこいの場として好適地である。



36. 平安鎌倉古道（桑原）

葦山より箱根へ通ずる道路であり、伊豆領主北条早雲の時代より開かれ利用して来たもので、一部は昔のまま遺存しており、往時の面影を偲ぶに足る遊歩道として是非残したい。



37. 北条宗時・狩野茂光墓（大竹）

五輪塔の大きいのが北条宗時、小さいのが狩野茂光の墓と伝えられる。石橋山に敗れた頼朝とその家臣、北条時政父子等敗走の様子や、宗時と平井紀六との戦いの様相を偲ぶ上で意義がある。



38. 田代城跡（田代）

鎌倉期田代冠者信綱が居住したと伝える。当時浮橋より箱根に至る街道の要地を占め、立地上の特色をもつ典型的な山城。外周の総堀に自然の谷、城内に平坦な曲輪跡も遺存する貴重な遺構である。

39. 藤明17号古墳（上沢）

反り畑より藤明にかけ30余基の群集古墳がみられたが、その多くは消滅している。古墳時代後期のもので、昭和32年発掘された一基で、副葬品、石棺が保存されており、古墳文化究明に欠かせぬ遺跡である。



40. 谷戸横穴古墳群（上沢）

柏谷百穴と同時代のもので、大竹・赤王にかけて多数の横穴が構築されていたが、開発の波にもまれ皆滅の状態の中、僅か数基が遺存しており、学術的価値も高い貴重な古墳である。

41. 不動の滝（平井）

岩間より流出する滝の高さ3m、現在水量が少なく貯水竈で流路を作る。不動堂に大日如来の使者不動明王を永録年間から祀る。年中水の絶えることがない。



42. 磨崖仏（畑毛）

荒神道の林中大岩に南面して彫られ、安政地震で倒れたという。北伊豆地震（昭5）で、割れた一方に鋭く梵字が彫られてあり、その横に永徳2年と刻む。他の一方に地藏が彫られている。葦山毘沙門道中の一つであろう。

43. 六万部寺経塚（柏谷）

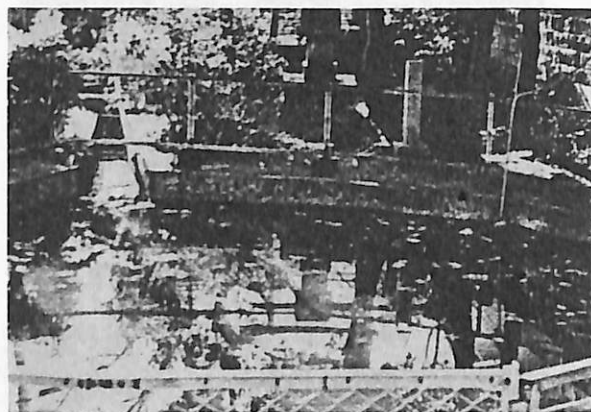
王城と称し、御陵墓とも伝える。頼朝・護良親王の伝説は著名。当寺の周囲土塁は向原館防備のものであろう。柏谷百穴に連る古墳が群集し、その主墳と推定される。当経塚は古墳を転用したもので、極めて貴重なものである。





44. 仁田氏館跡と忠常の墓（仁田）

伊豆の豪族仁田氏の館跡は、堀の内の地名や土塁・空隍の跡が現存し、往時の姿を偲ぶことができる。忠常は初陣を頼朝挙兵（1180）で飾った。37歳で加藤景廉に討たれるまで数多くの史話を残している。



45. 天池（間宮）

昔は直径4間深さ計り知れず、旱魃に減水もしないという自然湧水で、灌漑に用いられて来た。現在は住宅化の波に縮小され、直径7mばかりである。池畔に弁財天が祀られ昔日の面影が偲ばれる。



46. 蛇ヶ橋法界塔（肥田）

「法界さん」と呼ばれ、江川代官当時、受刑者を三島まで護送するのにこの地の茶店で休ませ、法を聞かせ道を説いてから橋を渡らせたという。嘉永4年伊豆一円の妙法講中により建立された、江戸時代庶民の様子がかがえる。



47. 弥生式壺形土器（丹那）

丹那盆地に形成・展開された遺跡群からの出土品で、弥生時代後期後半（3世紀前半）の特徴を備えた、貯蔵用の壺形土器である。



48. 養徳寺の石棒（平井）

墓地の一角に巨大な石棒が祀られているが男性のシンボルである。先史人たちの豊作多産を願う呪術的思想のあらわれである。縄文中・後期遺物がびんの沢で掘り起されたものを祀ったものという。

49. 疣水さん（日守）

古くから民衆の間で疣の治癒に効果があるとして知られ「いぼみずさん」として親しまれ、石の凹みにたまった水が、霊験あらたか疣を取去るということである。道端に小祠があり、今日も祀り続けられている



50. 田方の杜（塚本）

俗に森山という平坦地田圃中に孤立する海拔36mの丘陵、古くは八雲抄にも記されている。古松森々緑苔繁茂名勝にふさわしい麓に、満宮王子の二神を祀り、神社左端に肥付石を囲う。

函南町制20周年記念

町民が選んだ **文化財50選**

昭和59年3月24日発行

発行・函南町教育委員会

静岡県田方郡函南町仁田9番地

TEL (05597) 8-2250

編集・函南町教育委員会社会教育課

TEL (05597) 8-3027

印刷・日研印刷

三島市栄町3番30号

TEL (0559) 71-7866

寄贈



函南町立図書館蔵書印

函南町立図書館



111558003